

横断歩道無し 右から横断中の男性重体

2016年3月21日 00:08

20日午後8時ごろ、栃木県の市道を歩いて横断していた、無職男性(70)に、左から来た同市新井町、代行運転手男性(72)の乗用車が衝突。歩いていた男性は頭を強く打つなどし意識不明の重体。警察によると、現場はセンターラインのある片側1車線の直線で、横断歩道はなかった。代行運転手の男性は客の乗用車を運転中で、歩いていた男性は買い物を終え帰宅途中だった。

- 一時停止 ⇒ 二度停止
- 車間距離 ⇒ 前車から4秒間
- 前車発進 ⇒ 2秒後に発進

「なれた道・なれた仕事」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁です>

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

まさか！・・・のことが起こらないように、
車が動いているときは、いかなる場合も
常に、100%運転に集中しましょう

◇見られていますよ！ あなたの運転◇
◇ドライブレコーダーは乗用車にも普及しています◇

横断しようとして・・・車2台にはねられ78歳の男性が死亡

2016年3月20日(日)7時55分

18日午後10時半ごろ、東京都で、横断しようとしていた近くに住む無職の男性(78)が乗用車にはねられ、路上に倒れたところを対向車線を走ってきた別の車にもひかれた。男性は病院に運ばれたが、まもなく死亡が確認された。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、最初の乗用車を運転していた近くに住む会社員の女性(66)を逮捕した。2台目の車は逃走しており、同署が行方を追っている。同署はどちらの車によるけがが致命傷になったかを調べている。

大型トラック、停車中のトラックに追突 白バイなどにも追突、4台からむ事故

2016年3月22日(火)20時50分

22日午後1時45分ごろ、滋賀県の国道で、白バイや大型トラックなど4台が絡む事故があり、3人が軽傷を負った。警察によると、大阪市の運送会社の大型トラックが、走行中の白バイと停車中の中型トラックに追突。はずみで中型トラックが前方の交差点で別のトラックに衝突した。白バイの交通機動隊の男性巡查部長(32)と、中型トラックの男性運転手(49)と同乗者の男性(57)が肩や足を打撲した。

信号待ちのトラックにトラックが追突、炎上

2016年3月22日 12:16

22日午前9時45分ごろ、栃木県の国道で、4トントラックに2トントラックが追突し、2トントラックが炎上した。2トントラックの運転手が手や足などに軽いけがをした。警察によると、4トントラックは信号待ちで停止中だった。

交差点 信号無視 出合い頭に衝突、3人けが

2016年3月22日(火)13時56分

21日午前3時10分ごろ、千葉県の信号交差点で、直進していた軽乗用車と左から来た乗用車が出合い頭に衝突した。軽乗用車に乗っていた20歳ぐらいの男女と、乗用車の会社員男性(31)がけがを負い、病院に搬送された。警察は、目撃者の話などから乗用車が信号無視で交差点に進入したとみている。

運送会社、乗務後のアルコールチェックせず

【山陽道トンネル事故】

2016.3.22 23:57

広島県の山陽自動車道トンネル多重事故で、国土交通省は22日、容疑者(33)が勤務する運送会社への特別監査の結果、容疑者を含む14人の運転手が2月と3月に複数回、基準を上回る時間の連続運転をしていたと明らかにした。国交省は、同社で長距離の過労運転が常態化していた可能性があるとみて調べている。同省の担当者は「早く目的地に着いて休むため、休憩を取らずに連続運転していたようだ」と話している。また同省は、容疑者が遠隔地で乗務を始める際、本来は電話で会社の運行管理者に点呼連絡をしなければいけないのに、連絡しないまま乗務を始めていたことが過去に複数回あったとも明らかにした。同社の運転手42人全員が、乗務後のアルコールチェックをしていなかったほか、健康診断を受けていない運転手がいることも分かったという。特別監査は22日で終了、今後は必要に応じて立ち入り監査などを検討するという。また、広島県警は22日、トラックなどの事故車両と同じ車種を用意し、今後、トンネル内の現場に配置して事故の再現実験をすることを明らかにした。